



■ 久住章氏 特別講演会 -左官という仕事-

- ・1/17 (土)、東山の町家にて、久住章氏による特別講演会「左官という仕事」が開催され、建築関係者を中心として約40名の参加者がありました。
- ・講演会では、世界や全国各地の土の建築物等について、スライドを使って丁寧な解説があったほか、能登半島地震により被害を受けた輪島の土蔵の修復活動について報告がありました。



<特別講演会の概要> 左官という仕事 久住章氏 (左官職人)



- ・土蔵は厚い土壁の大壁により構造的に持たせるのが通常である。輪島の土蔵修復では、輪島塗の作業場として利用するため、真壁工法を採用して工期短縮を図った事例がある。真壁工法の場合は、通常と異なり、小舞自体に強度が要求されることから、肉厚の割竹を用いたほか、通常の5倍の強度を有する縄の編み方を採用した。
- ・職人の技術には一つひとつ名前があるわけではない。この編み方の場合は、手間とお金がかかるので、“長者巻き”かな。建築基準法で示されている内容は、最低限のものであって、職人はそれ以上の技術を有している。
- ・輪島の場合は、地下水が高いにも関わらず、土蔵周囲の側溝が浅かったこと、床下の高さが1尺5寸～2尺と低いこと、蔵に直接風が当たりにくいものが多かったことなどが被害を拡大したものと考えられる。そして何よりも、これまで大きな災害が起きなかったため、“別に大丈夫や”という意識が左官技術のレベル向上を妨げてしまったのだろう。
- ・職人の仕事には、答えが一つしかないわけではない。慣習を鵜呑みにするのではなく、“なぜ？”を問いかけ、様々な実験を通じ、検証することが必要である。

■ 金澤町家句会 (2月)

- ・2/9 (月)、東山の町家にて「金澤町家句会」が開かれました。 塩川文雄 廣瀬矢須維
まどろみや雪かきの音遠く聞く 春寒や熱爛で酌む赤ワイン
- ・参加者の皆さんが詠んだ句を 江口清
一部ご紹介します。 雷神の洗濯板か雪の道
杉玉と雪解零の軒端かな

■ 「LLP金澤町家」が発足

- ・NPO法人金澤町家研究会では、これまで東山の町家において町家の改修などに関する相談会を開催してきました。このたび本研究会と連携する組織として有限責任事業組合「LLP金澤町家」が設立され、町家改修に関する実際的な業務活動をスタートさせました。
- ・主な工事や設計業務を行うのは、金沢職人大学校を修了した「歴史的建造物修復士」で、第一線で活躍する経験豊富な職人や建築士です。LLPとは有限責任事業組合のことで、企業同士のジョイント・ベンチャーや専門的な能力を持つ人材の共同事業を振興するために創設された新しい事業体です。



<http://llpmachiya.exblog.jp/>

お知らせ

～町家無料相談を予約制に変更します～

これまで毎週土曜日の午後から東山の町家で開設していた相談会は、事務局建物の修復等の事情により予約制に変更しました。お住まいの町家、所有されている町家に関して、修復技術を習得した専門家(建築士)が無料で相談に応じます。お気軽に下記まで予約をお願いいたします。 Tel 076-263-6371/ Fax 076-263-6384 (事務担当 水野)

■ 「金澤町家改修塾」開催！

- ・ 3/7（土）、平成 20 年度金澤町家再生活用モデル事業の改修現場（千日町と長町の町家の 2 軒）で、町家修復関係者（設計士、大工等）の話を聞きながら、改修の様子を見学する「金澤町家改修塾」が開かれ、市民や建築関係者など約 40 名の参加がありました。

● 千日町の町家 ～飲食店舗（フランス料理店）としての使いやすさも考慮した改修～

- ・ 昭和 12 年に建てられた千日町の町家は、中庭越しに犀川を望める絶景のロケーション。
- ・ 内部は、下足のまま利用できるよう、土間コンクリートが打たれており、また床を低くしたため、そのぶん、柱が継いでありました。
- ・ 構造面では、垂直起こしによる歪み補正が行われているほか、耐震補強についてもできるだけ考慮されています。6 月末の完成が楽しみです。



改修中の千日町の町家



● 長町の町家 ～現在の姿や部材をできるだけ残した改修～



改修中の長町の町家

- ・ 明治 35 年に建てられ、大正期に松任より移築された長町の町家は、実は農家住宅の建築様式ですが、武家住宅が建ち並ぶ長町の町並みにしっかり合っています。
- ・ 長町の町家は、所有者の方から金澤町家研究会へ改修相談があり、それがモデル事業につながりました。
- ・ 現場では、雨漏りの影響で腐朽した梁や柱の取替え工事が進められていましたが、“現在の姿や部材をできるだけ残したい”とのオーナーの意向を反映し、できるだけシンプルな形で修復されているのが特徴的です。

☆このほか、本会の事務局である「東山の町家」についてもモデル町家（事務所兼ギャラリー）に選定されており、今後工事が進められる予定となっています。お楽しみに♪

🔍 金澤町家再生活用モデル事業とは？

- ・ 平成 20 年度より創設されたこの事業は、市民に町家の魅力を発信するため、店舗・貸家・宿泊施設・工房・事務所などに改修する町家について、外観修復や内装改修などの改修費用の 2 分の 1 以内（限度額 600 万円）の額を市が助成するものです。所有者に限らず、借家として活用する場合でも利用できるのが特徴です。今年度は 9 件の応募があり、そのうち 3 件がモデル町家として選定されました。
- ・ 平成 21 年度は 4 月より募集が行われる予定です。【問合せ先：金沢市町家再生推進室 Tel 076-220-2678】

■ シリーズ連載⑧・地域資源を活かした賑わいづくり ～NPO 法人輪島土蔵文化研究会（輪島市）～

- ・ 平成 19 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震により、輪島では、土蔵が大きな被害を受けました。こうした中、まちづくりプランナーや建築士らにより輪島土蔵修復支援実行委員会（現 NPO 法人輪島土蔵研究会）が発足し、全国の左官職人ボランティア等とともに土蔵の修復作業が進められてきました。
- ・ もうすぐ活動 2 年目を迎える現在は、左官技術研修プログラムのほか、工房コンシェルジュ事業や支援システム「土蔵へどうぞ」など、多様なプロジェクトが進められています。 <http://www.wajimadozo.net/>



竹小舞かきワークショップの様子

NPO 法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】水野

〒920-0992 金沢市上柿島 4-1-202（住所が変わりました）

(有)水野雅男地域計画事務所内

E-mail mmasao@mb.infoweb.ne.jp

<http://webserv.ce.t.kanazawa-u.ac.jp/kawakami/machiya/index.html>